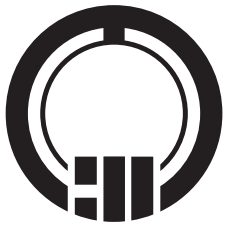


あなたと共にあゆむ



いまべつ

6月定例会

議会 だより



元氣よく手をあげ発言する児童たち

総務文教常任委員会開催 ～ 詳細はP 8 ～

◇ 6月定例会できたこと	2
◇ 一般質問	3～7
◇ 各常任委員会・各議会活動レポート	7～8
◇ 平成25年度議会活動出席状況	9～10
◇ 議会の動き（4月～6月）	10
◇ 編集後記	10

6月定例会で きまったこと

16日～18日

報 告

第415回定例会が平成26年6月16日招集され、18日までの3日間の会期で開催されました。提案された議案は、報告2件、専決報告12件、平成26年度補正予算7件、条例1件、あわせて22議案で、いずれも原案どおり承認・可決し、閉会した。

○平成25年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○平成25年度今別地区簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

条例関係

○今別町手数料条例の一部を改正する条例について

専決報告

○平成25年度今別町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額を3,137,393千円としたもの。

○平成25年度今別町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算

歳入歳出それぞれ10,000千円を追加し、予算総額を571,117千円としたもの。

○平成25年度今別町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算

歳入歳出予算それぞれ2,200千円を減額し、予算総額を22,28千円としたもの。

○平成25年度今別地区簡易水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ2,000千円を追加し、予算総額を153,716千円としたもの。

○平成25年度今別町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ58,095千円を追加し、予算総額を3,195,488千円としたもの。

て
青森県屋外広告物条例の一部を改正する条例の施行に伴い、提案するもの。

095千円を追加し、予算総額を3,195,488千円としたもの。

○平成25年度今別町国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正予算

歳入歳出予算の総額を165,326千円としたもの。

○平成25年度今別町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算

歳入歳出予算の総額を478,715千円としたもの。

○平成25年度今別地区簡易水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ1,879千円を減額し、予算総額を151,837千円としたもの。

○平成26年度今別町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額を2,614,137千円としたもの。

○平成26年度今別町国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正予算

歳入歳出それぞれ1,200千円を追加し、予算総額を154,258千円としたもの。

予算関係

○平成26年度一般会計及び特別会計補正予算について可決されました。

補正予算の概要

(単位：千円)

会 計 名	補正額	補正後の額	補正の主なもの
一般会計	25,041	2,639,178	臨時福祉給付金 12,970 子育て世帯臨時特例給付金 1,280 除雪機(2台) 1,000
国保(事業勘定)	918	548,999	番号制度国保システム改修委託料 900
国保(診療施設勘定)	△1,389	152,869	職員給料異動調整 △1,600 今別診療所業務支援負担金 1,200
後期高齢者医療	601	59,078	番号制度後期高齢者医療システム改修委託料 600
介護(保険事業)	1,229	454,274	番号制度介護保険システム改修委託料 1,200
介護(サービス事業)	8	17,768	職員旅費 8
簡易水道事業	7,406	108,826	揚水ポンプ設備設置工事 6,400

請願・意見

○最低賃金の大幅引き上げと中小零細企業支援の拡充を求める請願書

(採択)

○米軍垂直離着陸機MV-22オスプレイの配備撤回、低空飛行禁止を求める請願書 (不採択)
○特定秘密の保護に関する法律の撤廃を求める意見書 (否決)

地方税法の改正によるもの。
○今別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
国民健康保険法施行令の改正によるもの。

町

政

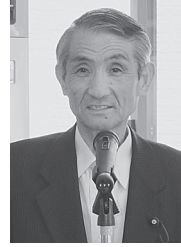
を

問

う

一般質問

6月定例会では、3人の議員が登壇し、当面する町の重要課題について、町執行部の考えをいただきました。その主な内容をお知らせします。



4番 中島邦彦 議員

大泊斜路護岸沖 合いに消波ブ ロック設置につ いて

質問

数年前に北西の風と高波により玉石まじりの砂利が民家や道路まで流入し、家財や漁具など大きな被害を受け、また、秋ごろから冬にかけて北西の風が吹くと不安で眠れない夜もあると聞いています。地域住民の不安を解消するためにも(通称)カドマ岩付近に消波ブロックを設置できないか、また、計画はあるのか伺います。

建設局長
産業課

大泊地区の海岸一帯には離岸堤や護岸が整備され、消波ブロックが多数設置されていますが、近年秋ごろから冬場にかけて高波が多く、消波ブロックが沈下したり流されたりしています。

このため道路まで波が押し寄せる事態となっており、昨年度もこの現場近くに消波ブロックを整備しております。

先日、地区総代からも離岸堤の嵩上げの要望があり、この現場の状況と一緒に確認しております。このことから、この一帯の状況を整理しながら関係機関に要望して参りたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

小中一貫教育に ついて

質問

教育長

生徒の減少により今別小学校は、現在78名から平成32年度は33名に減少するという。また、28年度から複式学級が始まり、今別中学校も現在46名から36名に減少するということです。今別小学校の鉄骨校舎部分は震度6以上の地震で倒壊の危険性が高く、町では耐震化を目指しているが具体的な計画はないと言われています。今別中学校は震度6以上に耐えるように設計されていると聞いています。今別小学校と中学校で校舎、敷地を共用する併設校とする計画はないものか伺います。

入学予定者数は一桁台になっていく見込みであります。中島議員のおっしゃる小中一貫教育につきましては、小学校及び中学校で一般的に行われている教育の課程を調整して、一貫性を持たせた体系的な教育方式の事であります。設置形態の多くは小・中それぞれ施設分離型であります。施設一体型で行われているところもあります。

当町では、小・中連携ということで事業に取り組む、研究を進めているところがあります。今後小・中一貫教育の効果等については、実施している学校の実績等を踏まえ、研究を進めていきたいと考えております。

また、小学校と中学校で校舎や敷地を共用する「小中併設校」については、現在設置を進めております(仮称)「町立学校の将来を考える協議会」の中でも協議、検討していくこととしておりますのでご理解いただきます。

校の将来を考える協議会」の中でも協議、検討していくこととしておりますのでご理解いただきます。

2番 福士直治 議員



子育て世代への 支援について

質問

①受験生への行政の援助・対応
わが町も含め全国的に児童数が減少しています。2013年度の日本における出生数は103万人で前年より7、000人ほど少ないそうです。そこで全国の市町村では様々な対策を講じ、若年層の人口流出や少子

教育長

教育委員会からは「子育て世代への支援について」の質問の中から、受験生への行政の援助、対応についてお答えいたします。ご質問の中にもありました。これまで実施していた前期と後期の2回に分けて実施していた

高校入学者選抜は、27年春に入学者の生徒から1回になります。私立を滑り止めや体験として受験する傾向は高くなることとが予想されます。

しかし、あくまで個人の選択であり、全員が受験するとも限らず、公平性に欠けることも考えられるため、現状では、受験料の援助は考えておりません。

ただ、学習面への支援につきましても、しっかりとした目標を持って、希望する進路へ進めるようこれまで以上の協力体制で望みたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

質 問

② 新生児への援助
出生数も激減しており新入学生児童が今年7名で次年度から一桁が続きます。当町で子どもを育てるということは、医療を考えても診療所が格段に良くなったといっても、小児科はないので、やはり青森市内へいくことが多くなります。そこで出生数を増やすためにも、新たな援助等何か行政で取り組みはあるのか説明願います。

福祉課 町 長

現在の町の子育て支援としては、議員が言われた支援の外、妊婦健診や乳児委託検診への助成、出産直後の保健師による家庭訪問、集団検診、子育てサロン等を行っています。

また、今年度からは「子育て、ほっとメル」を開設し、各家族化により気軽に相談できる相手や機会が少ない保護者や、働くお母さん方がメールで保健師へ気軽に相談を行えるよう支援しています。

ご質問のような新たな支援対策は現在具体的には考えておりませんが、今年度子育て新制度に係る「子育て支援計画」を作ることにしていますので、その中でも今後の子育て支援策について検討して行くこととしております。

人口減少問題について

質 問

若年女性減少問題に対する町での対策はあるか。
去る5月12日の地方紙に2040年には2039

歳の子どもを産む女性の減少が記事になっていました。今別町は全国ワースト3位です。この記事の中では、人口減少による学校統廃合や、財政破たん、路線バスなどの行政サービスが出来なくなるなどが懸念されます。高齢化率県内1位、平均年齢県内1位とお年寄りの元氣な町今別ですが、この若年女性の減少に対する町での対策はあるのでしょうか。

町 長

町では、新幹線開業に合わせた駅前広場整備事業の中で、道の駅増改築工事や屋外駐車場整備工事等を計画しており、完成した屋内駐車場を合わせて施設の運営を一体的に、効率的かつ効果的に管理する団体等の組織のあり方について検討を行っております。

この団体等においては、従業員の地元雇用が見込まれ、若年女性の採用も考えられているものであります。

先に掲載された地方紙では、将来推計人口を基本とした数字を大きく取り上げておりましたが、

町では、新幹線開業効果を享受すべく事業や一次産業の振興による後継者の育成確保対策、保育料の軽減並びに学校給食費の軽減対策などあらゆる環境整備を図ることによる人口減少防止策を講じることとしておりますので、議員各位からも積極的な提言をよろしく願います。

町営住宅について

質 問

古い住宅の解体を進め、子育て世代に低価格で良質な住環境を提供できないか。

何度が議会でも話題になりましたが、町営住宅の老朽化が目立ちます。外ヶ浜町や蓬田村では新規の公営住宅の評判が良いようです。きれいで使い勝手の良い住宅は子育て世代や若い世代の入居が多く、若年層の増加に一役買っているようです。町立体育館や廃校校舎の解体など問題が山積ですが早い時期に町営住宅問題にも対策を講ずるべきだと思いますがいかがですか。

建設課 町 長

町では、国の支援を受け今年度に公営住宅等長寿命化計画を策定することにしております。この計画は住宅事情等の状況、入居者の意識等を把握し、目標を定め維持管理の基本的方向性を示すことを目的としています。

現在の全住宅80戸を対象に改修して使用できる住宅、改修不可能で取り壊しする住宅等の診断結果が出るようになります。

町では、1号棟から5号棟までは解体する計画ですが、診断結果によっては、更なる棟数が増えることになると思います。

現在は、解体する入居者の引越等も含め12号棟から14号棟を対象にリフォームを考えていますが、長寿命化計画を策定することにより改修する部分には補助金も可能となります。また、解体だけでは補助金の対象にはなりません。また、解体後の新設では対象となります。ご質問のとおり外ヶ浜町、蓬田村では良質なオール電化の平屋住宅が次々と建設されており、当町においても現代

企業誘致について

質 問

新幹線開業をセールスポイントにした企業誘致はできないか。

全国どこの市町村でも企業を誘致したいという思いは強いと思います。が、従来の製造業、電子部品や縫製工場などの誘致は実際難しいと思います。今別町にも何社かありましたが現在はいくつかの誘致企業が閉鎖しています。そこで今別町の特長を生かした1次産業であれば、豊富な山菜の加工場の誘致や、牛の繁殖、肥育、精肉加工までの食品加工会社との連携、新幹線開業で東京まで日帰りできるメリットを生かし、外ヶ浜町平館地区のかもめ苑のような障害者支援施設の誘致、駅周辺の管理を管理運営団体に委託して雇用を増やすなど簡単ではありませんが、検討の余地はあると

思います。行政の考えを教えてください。

企画課長

ご指摘のとおり企業誘致については、働く場所の確保の観点から、どこの市町村においても大きな難しい課題であります。

新幹線駅開業による人的交流、物資の流通等について期待される場所であります。

当町においては、新幹線駅ができる町としてのメリットを県内外にPRし、企業誘致に結び付けることができないか議員各位の意見・情報もいただきながら検討して参りたいと思います。

議員

1 番 入 江

質 問

今後の町の存続に関わる雇用の確保と世代継承について



① 今別町の新幹線開業にあたり、今後、町の活性化の

条件となる地元の雇用を増やす対策についてどのように考えているか答弁を求めます。

町 長

このご質問については、2 番 福士直治議員に答弁したとおり、駅前施設等の管理に関する地元雇用の拡大や一次産業の振興対策による後継者の育成などが計画されているものであります。

新幹線開業による地域の経済の活性化は、町の将来を担う若年者の増加が見込まれることから根強い地道な活動が求められると思っていますのでよろしく願います。

質 問

② 町の存続と世代継承をするにあたって、これまで基幹産業であった農業、漁業の振興は、これからも必須条件と考えられます。それぞれ農業、漁業のブランド商品化をめざし、今別町の特産品としての開発など今後今別町としてこれらの施策についてどういう展望を持っているか答弁を求めます。

産業建設課長

農業、漁業は町の基幹産業であり、将来の担い手

育成が不可欠と考え、これまで様々な取り組みを行い支援してきました。その甲斐があつて若い後継者が徐々にですが増えてきております。

国では、今年度から新たな農業政策として4つの改革を掲げています。これに伴い、当町の担い手農家でも農地の規模拡大と生産性を高めるため、ほ場整備事業を行うため発起人代表者など数名の方が町へ要望に訪れています。

和牛飼育では、子牛市場で今別産が高値で取引されていることから、繁殖農家も若い世代の後継者が生まれてきています。町としても将来的には、肥育牛農家を増やし、荒馬まつり、秋まつり限定のいまべつ牛の販売を通年販売と、常時提供できる体制が必要と考え、いまべつ牛販売促進連絡会議を設置したところであります。北海道新幹線開業に合わせた商品開発も活発となり、6次産業化に向けた加工品等も商品化され好評を得ているところであります。漁業について、漁業不

振は続いておりますが、少ない魚介・海藻類等の水産資源を生かし付加価値を付けての商品開発と販売ができる体制を漁協と取り組んでおります。

特産品等は「なもわくも」、改修後の道の駅「アスクル」等で販売し、いまべつの情報発信をしながら、新たな販路拡大を目指していきたいと考えています。

質 問

第一弾として、6月29日には、「なもわくも」で竜飛・今別漁協「津軽海峡今別産ウニ祭り」を開催し、地場産品のPRを行い、情報発信します。

③ 3月議会で住宅リフォーム助成制度について町長に質問したところ、前向きに検討したいと答弁がありました。正にこの制度が雇用の確保と町の経済の活性化につながると考えますが、平内町などの事例を参考に具体化して見る段階にきているのではないかと思います。答弁を求めます。

産業建設課長

当町でも、昨年度に「安全安心住宅リフォーム促進支援事業」県補助支援事

業を行っております。2件の申請があり、支援しましたが、25年度で制度が終了しております。

入江議員の質問の住宅リフォーム助成制度は、単独事業の支援事業であります。平内町の制度については県補助支援事業とほぼ同じですが、要件や制約が少ないということであります。

今年度は、4月に一次募集しましたが、申し込みが少なく、二次募集をするということです。前回にも答弁をしておりますが、当町では現在、浄化槽設置整備事業補助金として町単独で30万円を上乗せして助成しております。県下では当町だけとなっております。これは町単独の住宅リフォーム支援事業と捉え助成していただきますのでご理解をお願いいたします。

今別町の就学援助制度の内容について

この問題を質問する際に就学援助を必要とする子供たちの増加についてです。無償とされる義務教育の小中学校におい

て、経済的な困難な状況があつても、「子供たちがお金のことを心配しないで学校で学ぶ」ために、国民の権利としてあるのが就学援助です。就学援助を受ける小中学生は2011年度で過去最高になり、全国で167万人、小中学生の15.6%となり、約6人に1人の小中学生が認定されています。就学援助は、「教育無料」が完全に実現していない現在では、大切な制度です。必要とする人ができるように、制度の改善・充実を求める立場から以下の質問をします。

質 問

① 今別町の就学援助制度給付内容は、国庫補助基準の項目で金額が支給されているかどうか答弁を求めます。

② 2010年度から部活動費、生徒会費、PTA会費が就学援助の項目として追加されていますが、今別町ではどうなっているか答弁を求めます。

③ 就学援助制度の認定基準、つまり認定目安額など具体的な数値基準があれば、お示しください。

たとえば、母子世帯や4人家族の認定目安額などでもいいですので答弁を求めます。

教育課長

一つ目については、町が準要保護児童生徒に対して支給している就学援助費については、国庫補助単価に基づいて支給しております。

二つ目の追加された就学援助項目の部活動費、生徒会費、PTA会費につきましても、近隣町村や県内の支給状況を勘案して、現在、支給しております。

三つ目の就学援助制度の認定基準や認定目安額についてですが、制度により就学援助費の支給を受ける保護者の認定については、生活保護を受けている場合は、要保護者として認定しているほか、要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる場合、審査の上、準要保護者として認定しています。具体的には次の措置を受けた方が認定基準となります。

- ・生活保護の停止または廃止になった人。
- ・町民税が非課税の人。

・個人事業税や固定資産税の減免を受けている人。

・国民年金の掛金や国民健康保険料の減免、猶予を受けている人。

・児童扶養手当の支給を受けている人などの他、保護者の職業が不安定で生活状態が悪いと認められる人などが認定基準となっておりますが、それらに該当する人の認定には収入額の制限があります。

その額については、世帯の年齢構成や世帯人数等によって異なるため、一概に金額を示すことはできませんが、例えば、20歳から40歳までの夫婦二人と中学生、小学生の二人の子どもがいる場合の認定の基準となる収入額は月額18万9千円程度以下となります。

消防事務組合今別分署について

質問

①中央消防今別分署庁舎は、築41年経過し、その老朽化に伴い、耐震性を含めた建築構造上の問題点があるかと思いますが、建

て替えも含め、その対応についてどのように考えているか答弁を求めます。

総務課長

今別分署は、昭和47年に建てられ、年数も経過し、老朽化が進んでいます。建築構造上の問題がないとは、言えないと認識しております。

修繕も含めての対応が必要と考えております。

質問

2つ目の質問するにあたり、今別分署の聞き取り調査について報告します。

1、分署庁舎の敷地が狭く、手狭なため、玄関のシャッターを閉めると、消防車のスペースに余裕がない。

2、職員が入りやすいスペースの余裕もない。

3、一階トイレの箇所が、大雨が降るといつも玄関まで水浸しになる。

4、消防職員が訓練するトレーニング室や場所もなく、職員の駐車場も間借りしている。

5、2階に上がる時、階段も2階の床も歩くとギシギシと大きな音がし、板が折れそうになるほど老朽化が進んで

いる。

6、分署庁舎に断熱材が入っていないので、冬場は暖房をつけっぱなしにしている。消防車両がポンプ車のため、中の水を凍らせないために常時暖房をつけなければならない。

7、2階の壁板を見ると、屋根のサガが溶けて、水漏れの跡がたくさん残っている。

8、道路側から外壁を見ると、壁の割れ目が見え、壁の覆っており、壁のコンクリートが落ちないように応急措置がされている。

9、大地震がくると恐怖に襲われるという。東日本大震災の時、庁舎を支える柱が数本追加されたために、建物の崩壊を防ぐことができた。

10、仕事上何が一番困るかと質問すると、地震でいつ庁舎が壊れるか不安でしょうがないという。

11、耐震基準を満たしていないとすれば、町民の命と財産を守る消防活動の拠点となる庁舎では問題がある。

今の聞き取り調査を踏まえて、2点目の質問です。

②もし今別分署の建て替えをするのであれば、消防車、救急車などの駐車場、手狭な現庁舎の内部を広くしたスペース、職員の駐車場、消防職員のトレーニング室または訓練する場所などを必要とする土地の確保など、総合的に考えてみた場合、現在地では難しいのではないかと。今別分署の庁舎の新築と土地の確保が必要と考えられるが答弁を求めます。

総務課長

消防庁舎は、火災時はもちろんのこと、地震などを

含め、あらゆる災害時に迅速に出動し、消防活動を行う拠点となる施設でありますので、建物は強固で職員にとっても、任務遂行のための良好な環境が必要であります。したがって、この基本事項に適した場所への建設が重要となります。

質問

③もし今別分署の庁舎建て替えとなれば、庁舎建設にかかる費用(土地代は、別として)は、他の分署

を例にすると、概算でいくらになるか。建築費に

国や県の補助金というものがないものなのか。庁舎建築費が外ヶ浜町と今別町の両町だけの負担になるのかどうかを含めて答弁を求めます。

総務課長

現在の今別分署の規模に近似している、新城分署を例にすると、実施設計や工事費を合わせ、約4億2千万円と見込まれていますが、規模・設備・機能により積算されることとなります。

補助金等の財源については、使用形態や内容により、有利な財源も活用可能との情報もあります。が、過疎債の充当も含め、検討することになります。

建設費の負担については、基本的には今別町と外ヶ浜町で負担することになります。

質問

④救急救命士の勤務体制について、青森市内の分署は正職員22名体制であるが、一人の救急救命士は1カ月のうち、どの程度勤務可能なのか、また救急車に救急救命士が1カ

月24時間常時乗車するには、最低何名の救急救命士が必要となるか答弁を求めます。

総務課長

分署職員の勤務時間については、救急救命士の資格の有無にかかわらず、朝8時30分から翌日の朝8時30分、休息を含む24時間体制で、1ヶ月あたり11回程度の勤務となっています。

救急救命士が常時救急車に乗車するためには、週休日、研修、休暇等を考慮すると1隊につき2名以上、最低でも2隊で、4名が必要です。

現在の今別分署の救急救命士は1名であります。が、さらに現在1名の職員が県病において研修中であり、9月頃からは2名となります。今別分署の体制の強化のためにも、救急救命士の養成を計画的に行っていく必要があります。

大泊地区の防風対策用設備の設置について

質問

①大泊地区の斜面の補強工事で、斜面にあった木がほ

ぼ伐採されたために、パイパスに住んでいる住民の防風対策として、木製でできる2メートルの高さの防風柵を今冬になる前につくると建設課から説明を受けました。工事後に迎えた冬に、50年以上住んで一度も凍ったことがない水道が初めて凍ったことや、斜面の下からの強い風により、泥が窓に飛んでくるたびに掃除し、家の前の垣根が腐って枯れてしまったなどです。果たして町の説明した木製の防風柵で、今述べた問題が解決できるのか答弁を求めます。

産業建設課

この工事は着工前に地元からの要望や意見を反映させるため、県、町、総代を始め地区の農林漁業者の代表13名の委員で環境公共推進協議会を設立しています。

協議会では工法の検討や現況の斜面の木々を残すか、伐採するか検討されました。結果、現在のフリーフレーム工法で施行し、斜面の木々については腐りかけた大木が多く全部を伐採することと決定しました。

風が強いため、伐採後は防風柵の要望が出されましたが、治山工事の補助事業の工法としては、転落防止柵となり、防風柵は対象外ということとす。しかし、防風柵を設置してほしいとの地元からの強い要望で今年度、県単事業で実施が決定しております。

県でも治山事業で施行する防風柵は事業的にもこの工法が限界であります。道路用の防風柵ほどは高さがありませんが、効果はあると思っています。この防風柵で問題が解決できるかとのことで

ですが、これから施行後の状況を見ながら問題があれば検討しながら対処していきたいと考えていますのでよろしく願います。

質問

②大泊地区の上の坂に27年度設置予定の金属製の防風柵で、道路が狭くなり、冬場、車の往来で事故を心配していますが、その対策について答弁を求めます。

大泊地区の上の坂の防風柵については3月議会で27

年度からの実施予定と答弁をしております。また、今年度の大泊地区の座談会において質問があり、実施することにより道路幅が狭くなり歩行するのに支障が出た場合危険であり実施を見合わせた方がいいのではという意見が出されました。

このため、今年の冬期間に既設のネットを撤去し、防風対策なしでの状況を調査することにして

町としては現状維持の道路幅で防風柵を実施することにしておりますが工法について大泊地区と現場で協議することにして

おりますのでご理解をお願いいたします。



北海道新幹線開業促進特別委員会 視察レポート

〓奥津軽いまべつ駅屋内駐車場等視察〓

H26・4・10

4月10日、北海道新幹線開業促進特別委員会が開会され、新幹線対策室の小野室長から奥津軽いまべつ駅の開業に向けた工事の進捗状況や、駅前改修の構想について説明を受けた後、現地を企画課、新幹線対策室と共に議員7名で視察しました。新幹線駅設置予定地では、着々と開発が進み、中央に時計台があった緑地帯には大変立派な屋根付駐車場が完成しており、その駐車場の内には48台の駐車スペースの他、駅舎連絡通路側には清潔感のあるトイレや、ゆとりのある待合ホールなど利用客の使いやすそうな設備が設けられていました。

また、屋内駐車場周辺の整備も完成型を想像できるほどに再開発が進んでいました。残念ながら今年度改修予定の道の駅アスクルは閉鎖中のため中は見られませんでした。が、平面図を見ながら、



(北海道新幹線開業促進特別委員長
福士 直治)

道の駅視察レポート

H 26 ・ 4 ・ 24

1つに、訪問した道の駅も、幹線道路に面してつくられているか、奥まったところの道の駅でも、大きな看板があり、道の駅の場所が分かりやすかった。2つに、地産地消の考えが元であり、どの町村の特産物なのか分かりやすく、ブランド品として定着し、町の経済の活性化につながっている。3つに、友好都市として結んでいる町村の特産物も販売され、特に鶴田町では、アメリカの友好都市が紹介されていたのが印象的でした。

(報告者 入江 奨)

以上のことを参考に1つに、今別町の道の駅の入り口の看板を目立つように大きくすること。2つに今別町の特産物並び



(物産売り場の様子)

総務文教常任委員会

H 26 ・ 5 ・ 7

平成26年度総務文教常任委員会を開催し、今別

受け、その後、授業風景を見学しました。

小学校と今別中学校を訪問し、今年度の学校経営、課題について説明を

今別中学校訪問

最初に、今別中学校を



(今別中学校を訪問し、意見交換する)

訪問し、高坂校長より学校状況説明され、教師と生徒の信頼関係を築き、落ち着いた中で学習に集中できる環境づくりに努め、日々の学校生活の中で互いの個性を認め合い、助け合いながら集団を高めていくことを学校課題解決のための手立てとして掲げ、取り組んでいるということでした。

先生方の生徒に対する熱意をひしひしと感じ、生徒一人ひとりと向き合い、苦手分野に挑戦させ、学校生活の中で、担当を持ち、責任感を養い、将来、どんなことがあっても、乗り越えられる心を育てていきたいということでした。その



(今別小学校を訪問し、授業を見学する)

後、授業風景を見学し、生徒が授業に真剣に取り組んでいた姿が、印象的でした。

今別小学校を訪問

今別中学校の訪問の後、元氣いっぱいの子供がいる今別小学校を訪問しました。早速、玄関で、通りかかった児童は、明るくあいさつしてくれました。今年赴任した伊藤校長より、学校の現状と今年度の計画を説明され、新しい時代を主体的に切り拓くたくましい子どもを育てるために、学校・家庭・地域社会の連携を強化しながら、全職員が一丸となつて、「夢を育み一人一人

が輝く学校」をめざし、教育実践に取り組んでいるということでした。その後、各学年の授業風景を見学しました。先生が問いかけた問題に対し、

産業建設常任委員会

H 26 ・ 5 ・ 13

5月13日、産業建設常任委員会が開催され、関係課より平成26年度重点事項、事業計画の説明を受け、その後関係課と現場を視察しました。早期に改修が必要である大川平～大川平バイパスに抜ける道路、旧大川平小学校教員住宅、旧今別保育園に行き、大川平バイパスに抜ける道路は、生活道路のうえ、道路幅が狭く、町民から要望が寄せられていた現場です。旧大川平小学校教員住宅は、老朽化が激しく、屋根がはがれ、現在、応急処置しているが、このまま放置しているととても危険だということです。最後に旧今別保育園も老朽化が進み、屋根がはがれていました。今回現場視察をした現場は、今後、北海道新幹線開業し、観

進んで手を挙げ、発言し、それについてみんなで色々な意見を出し合い、先生も児童の意見を尊重しながら進めている授業に感動しました。

光客が訪れた際、必ず、立ち寄る場所なため、安全に観光していただけるよう、早期改修が必要で



(旧今別保育園屋根破損現場)

県選出国会議員及び鉄道建設・運輸施設整備支援機構表敬訪問レポート

H26・6・26～27(東京都・神奈川県横浜市)
6月26日、青森県選出の国会議員を表敬訪問してきました。
問題点について、要望を重ねてきました。

(報告者)

福士 和比古

内容につきましては、津島淳衆議員と滝沢求参議員、山崎力参議員が出迎えて下さり、新幹線の開業に向けての更なる支援と、小国峠の冬期間の危険な道路状況について説明し、改修について要望をさせていただきました。

翌、27日は、神奈川県横浜市の鉄道運輸機構を訪ねて、新幹線工事の進捗状況を確認し合うとともに、開業までの種々の



(滝沢求参議員を囲み、記念撮影)

全員協議会開催

阿部町長は、6月11日全議員に出席を求め、次の項目について説明しました。

案件

1、青森地域広域事務組合と青森地域広域消防事務組合の合併について

平成25年度議会活動出席状況

議会議員は、定例会、臨時会他に、各委員会を設置し、様々な活動をしています。
普段見れない議会活動と出席状況について紹介します。

★定例会

【定期的に招集される議会です。】

	6月	9月	12月	3月
島中 春光	○	○	病欠	○
小鹿 勉	○	○	○	○
入江 奨	○	○	○	○
福士 直治	○	○	○	○
福士和比古	○	○	○	○
中島 邦彦	○	○	○	○
明田 平苗	○	○	○	○

★臨時会

【必要となる時、特定の事件に限り、審議するため招集される議会です。】

	6月27日	8月5日	2月4日
島中 春光	○	○	○
小鹿 勉	○	○	○
入江 奨	○	○	○
福士 直治	○	○	○
福士和比古	○	○	○
中島 邦彦	○	○	○
明田 平苗	○	欠席	○

★常任委員会及び各委員会出席状況

・総務文教常任委員会

【総務課、町民福祉課、教育委員会、その他の所管課に関する委員会です。】

	5月8日	6月4日	7/2～4日
福士 直治	○	○	○
入江 奨	○	○	○
福士和比古	○	○	○
小鹿 勉	○	○	○
島中 春光	○	○	○

・産業建設常任委員会

【産業建設課に関する委員会です。】

	5月8日	7/2～4日
明田 平苗	○	○
中島 邦彦	○	○
福士和比古	○	○
小鹿 勉	○	○
島中 春光	○	○

・議会運営委員会

【議会を円滑に運営するために設置され、本会議の進行の調整を行います。】

	6月4日	6月26日	8月2日	9月3日	9月12日	12月4日	1月30日	2月28日
福士和比古	○	○	○	○	○	○	○	○
明田 平苗	○	○	○	○	○	○	○	○
入江 奨	○	○	○	○	○	○	○	○
小鹿 勉	○	○	○	○	○	○	○	○
島中 春光	○	○	○	○	○	○	○	○

・議会広報委員会

【議会活動状況を町民に周知するため議会広報だよりを発行しています。】

	4 / 22	7 / 24	10 / 25	1 / 23
福士和比古	○	○	○	○
入江 奨	○	○	○	○
福士 直治	○	○	○	○
島中 春光	○	○	○	○

・北海道新幹線開業促進特別委員会

【北海道新幹線開業に関わる委員会です。】

	6 / 4
福士 直治	○
入江 奨	○
福士和比古	○
中島 邦彦	○
小鹿 勉	○
明田 平苗	○

・監査委員調査特別委員会

【監査委員調査に関わる委員会です。】

	9 / 24	10 / 8	11 / 5
明田 平苗	○	○	○
入江 奨	○	○	○
福士 直治	○	○	○
福士和比古	欠席	欠席	○
小鹿 勉	○	○	○
島中 春光	○	○	○

★行事関係

	入江奨	福士直治	福士和比古	中島邦彦	小鹿勉	明田平苗	島中春光
4 / 2 鉄道運輸機構青森新幹線建設局表敬訪問 (青森市)		○	○			○	○
4 / 25～26 J R北海道札幌本社表敬訪問 (北海道札幌市)		○	○			○	○
5 / 9～10 県選出国會議員表敬訪問 (東京都)	○	○	○	○	○	○	○
7 / 9 健康管理セミナー (外ヶ浜町)	欠席	○	欠席	○	病欠	○	○
7 / 10 東青県民局地域整備部へ陳情 (青森市)	○	○	○	○	病欠	○	○
7 / 11 県下町村議会議員研修会 (青森市)	欠席	欠席	○	○	病欠	○	欠席
11 / 9～11 東北復興大祭典他県選出国會議員表敬訪問 (東京都)	欠席	○	○	○	○	○	○
11 / 20 道州制研修会 (青森市)	○	○	○	病欠	○	○	○

議会の動き (26年4月1日～6月30日)

4月

7日 管内小・中学校入学式
 8日 北高今別校舎入学式
 10日 北海道新幹線開業促進特別委員会
 17日 議会広報委員会
 18日 例月出納検査
 23日 今別町観光協会通常総会
 24日 道の駅視察研修 (鶴田町・五所川原市・つがる市・青森市)
 30日 東津軽郡町村監査委員協議会役員会 (青森市)

5月

1日 東津軽郡町村議会議長会監事会 (外ヶ浜町)
 7日 総務文教常任委員会
 11日 海峡いまべつ春まつり
 13日 産業建設常任委員会
 14日 東津軽郡町村議会議長会事務局長会議 (青森市)
 16日 東津軽郡町村監査委員協議会定期総会 (青森市)
 18日 今別中学校体育祭
 20日 例月出納検査
 21日 東津軽郡町村議会議長会定期総会 (青森市)
 22日 議会事務局職員研修会 (青森市)
 25日 今別小学校運動会

26日～27日 J R北海道札幌本社表敬訪問 (北海道札幌市)
 27日～28日 第39回全国町村議会議長・副議長研修会 (東京都)

28日 今別町商工会通常総会
 29日 定期監査

6月

8日 今別町消防団定期観閲式
 11日 全員協議会開催
 11日 議会運営委員会
 12日 駅名決定に伴う県庁あいさつ廻り
 13日 「北海道新幹線奥津軽いまべつ駅」決定を祝う看板除幕式
 16日～18日 第415回6月定例会
 19日 今別町植樹祭
 20日 例月出納検査
 20日 東郡老人スポーツ大会 (外ヶ浜町三厩体育館)
 23日 議会広報委員会
 23日 J R北海道本社表敬訪問 (北海道 札幌市)
 26日～27日 県選出国會議員並びに鉄道建設・運輸施設整備支援機構表敬訪問 (東京都・神奈川県)

編集後記

まだまだ暑い日が続いておりませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この時期は地場産のおいしい夏野菜を食べて、元気に乗り切りたいですね。ねぶた、荒馬、流し踊りといった夏の風物詩が、今別の短い夏の終わりを感ぜさせます。さてわが町では、駅名が正式に「奥津軽いまべつ駅」に決まり、役場前において看板除幕式も行われ開業ムードが高まってきておりますが、今別町議会におきましてもJ R北海道をはじめとする関係機関への表敬訪問や、北海道新幹線開業促進特別委員会での研修会、当町の新屋内駐車場や他市町村の道の駅視察など新幹線関係の事業が目白押しでした。

これからよりよい町づくりをめざし、町民の皆様さん・町・町議会が一体となつて取り組んで行きたいと思ひます。

議会広報委員会

委員長 福士和比古

副委員長 入江 奨

委員 福士 直治